|  |  |
| --- | --- |
| 学位記番号 | ※大学で記入 |

博士論文のインターネット公表（大学機関リポジトリ掲載）確認書

令和　　年　　月　　日

香川大学大学院　　　　　研究科長　殿

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 学位の区分：　 課程 ・ 論文 | | 学位の種類：　博士（　　　　　　　） |
| ふりがな  氏　　名 |  | |
| 論文題名 |  | |
| 学位取得**後**  の連絡先 | 住所：〒  Tel：　　　　　　　　　　　Email： | |

以下の～のいずれかひとつにチェックし、必要箇所を記入してください。

　□【全文の大学機関リポジトリでの公表可能】

私が執筆した博士論文（全文）について権利関係及び共著者の承諾を確認した結果、インターネット公表（大学機関リポジトリ掲載）することに問題はありません。

　□【全文の大学機関リポジトリでの公表の保留希望】

私が執筆した博士論文（全文）について、下記①又は②の事由のため、インターネット公表（大学機関リポジトリ掲載）を保留してください。

**①著作権による制限が解決していないため**

**※ただし、共著者の承諾を得ていない方又は転載の許可を得ていない方は②にお進みください。**

|  |  |
| --- | --- |
| 項目 | 保留事由 |
| □図書出版、学術誌等への掲載 | □出版・掲載済み  □出版・掲載予定【令和　　年　　月予定】 |
| □出版社の著作権ポリシーを確認することができないため、大学における調査を依頼する。  □出版社の著作権ポリシーを確認した結果、【令和　　年　　月　　日 （公表可能日）】まで公表することができない。 |

**上記の大学における調査によりインターネット公表の保留事由の解消が確認できた場合、又は上記の公表可能日を経過した場合は、インターネット公表（大学機関リポジトリ掲載）することに問題ありません。なお、全文を公表できない場合、学位取得後１年以内に要約を提出します。**

出版又は掲載状況

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 論文１ | 題名 |  |
| 出版又は掲載日 | 年　　　　　　　月　　　　　　　日 |
| 出版物等の名称  （学術誌名・巻・頁など） |  |
| 出版社等の名称 |  |
| 論文２ | 題名 |  |
| 出版又は掲載日 | 年　　　　　　　月　　　　　　　日 |
| 出版物等の名称  （学術誌名・巻・頁など） |  |
| 出版社等の名称 |  |

次ページに続く

**②その他の事由のため**

|  |  |
| --- | --- |
| 項目 | 保留事由 |
| □共著者の承諾を得ていない | 共著論文であるが、インターネット公表（大学機関リポジトリ掲載）について共著者の同意を得ていない。 |
| □転載の許可を得ていない | 他の著作物に掲載されている図表や写真等を原稿の一部として転載しているが、インターネット公表（大学機関リポジトリ掲載）について許可を得ていない。 |
| □特許・実用新案出願 | □特許出願予定又は審査中（出願公開前）【出願（予定）：令和　　年　　月】 |
| □実用新案出願予定又は審査中【出願（予定）：令和　　年　　月】 |
| □その他 | （具体な事由を記載してください） |

**上記事由の解消等に伴う所定の報告書について、１年以内（特許については出願公開後直ちに、実用新案については登録後直ちに）に必ず提出いたします。**

　□【要約のみ公表希望】

私が執筆した博士論文（全文）について、下記事由のため、インターネット公表（大学機関リポジトリ掲載）を希望しません。つきましては、要約での公表を希望しますので、論文全文と併せて論文の要約を提出いたします。

|  |  |
| --- | --- |
| 全文の公表が困難な事由 | （具体な事由を記載してください）  （記入例１）図書出版や学術誌への掲載において、出版社の著作権ポリシーを確認した結果、全文の公表ができない。  （記入例２）博士論文が立体形状による表現等を含み、インターネット公表ができない。 |
| 国立国会図書館及び香川大学図書館での閲覧、複写等について | □以下の理由により、利用制限を希望する。 |
| □利用制限を希望しない。(図書館内での閲覧・複写等可) |